

一般質問

松山議員

その他の質問  
・「勝山市の防災関係」について

コミュニティFMについて

Q 質問

コミュニティFMは、地域の特色を生かした情報発信のみならず、災害時情報提供手段の一つとしても有効なメディアであり、地域活性化に寄与すると考えられる。NPO法人 市民活動ネットワークが、支援できないか伺う。

A 答弁

勝山市としては、コミュニティFMが、勝山市の地域防災や観光などについてどのように効果的に力を発揮できるのか、及び経営計画と運営体制をどのようにしていくのかを見極め、その上で、市としてその活用について、検討していきたい。

A 答弁

①ふるさと納税のPRに努めるとともに、クラウドファンディングにどのように関与し資金調達ができるかを研究し、自主財源の確保に努めていく。

②勝山市のふるさと納税の寄付金額は県内でもトップクラスで、ふるさと勝山に愛着を持っていらっしゃる方を認識している。引き続き、勝山市出身の方やご縁が出来る方、ふるさとサポーターの方へのふるさと納税PRを行っていき

たい。

自主財源確保、資金調達について

Q 質問

①※クラウドファンディングは、自治体事業の予算確保のための新たな手法ともなり得るのではないか。財源確保の一つの施策として検討すべきと考えられるが市の見解を伺う。

②ふるさと納税の結果について、どのように評価しているのか。また、さらなる積極的な活用やPRにつ

いて伺う。

③ふるさと納税による寄附金を市民みずからが用途を決められないか。

③勝山市において、ふるさと納税して頂いた寄附金のうち、コース指定して頂いたお金についてはコースの目的に沿った事業の財源として活用させて頂いて下さい。コース指定のない場合は予算編成の中で、市の重要施策に充てさせて頂いていただいている。



かっちまHUB

北川議員

女性の活躍促進について

Q 質問

将来的な人口減少を見据え、労働人口を確保するには、女性の社会進出が不可欠である。当市においても、若年女性の流出により「消滅」の危機に直面する自治体の対象になっており、若年層の流出を防ぐためにも、女性の活躍促進への取り組みが重要である。そこで次の2点について伺う。

①仕事と生活の調和を図る、ワーク・ライフ・バランスの推進について  
②女性が働きやすい職場環境整備への支援について

A 答弁

①第2次勝山市男女共同参画基本計画では、計画を推進するための視点のひとつに「ワーク・ライフ・バランスの推進」を掲げており、この計画に基づき、男女がともにゆとりを持ち、生涯にわたり健康で自分らしく豊かな生活を送ることが出来る社会の実現を目指していく。

②職場環境の改善には、企業の努力が必要不可欠ではあるが、市としても、国や県の支援制度の周知、環境改善に取り組む市内の企業をHPや市広報等で紹介し支援するとともに、職場の環境改善に向けて啓発に努めていく。

空き家対策の推進について

Q 質問

2013年の住宅・土地統計調査による全国の空き家数は820万戸に上り、住宅総数に占める割合も13.5%で過去最高になっている。

当市においても、「勝山市空き家等の適正管理に関する条例」を施行し対応されているが、今後、人口減少に伴い、空き家が増えると思われる。そこで次の2点について伺う。

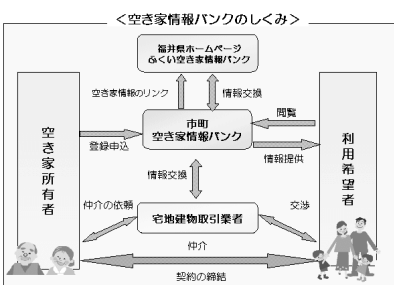
①今後の予防について  
②空き家情報バンクの取り組みについて

A 答弁

①空き家の情報は、各区長情報を元に市職員がその現状を確認している。空き家対策は所有者や管理者の理解を得ることが最も重要で、今後とも継続した取り組みが必要であると考えている。

②空き家情報バンク制度は、平成18

年度から導入、平成25年度まで11件の登録があり、そのうち7件が契約成立している。



空き家情報バンクのしくみ